

まちづくりプラン(案)作成にむけて 準備会から提案!

10月4日第4回三里まちづくり協議会設立準備会で「第2回まちづくりワークショップ<目標づくり>」の結果を整理・検討し、5つの追加検討が提案されました。このことについても地域のみなさんと一緒に「第3回まちづくりワークショップ」で話し合っていきます。

- ① 婚活課をつくり、単身世帯を減らしていくよう支援をする
- ② 現在の目標の上にさらに目標をつくる
- ③ 「高齢者への対応」と「子育て応援」をひとつにする
- ④ 「人を活かす」と「歴史・場所を活かす」をひとつにする
- ⑤ 「人を活かす」と「防災・安全安心」をひとつにする

11月26日

場所：三里支館 時間：9:30-12:00

お問い合わせはこちらまで

- 三里まちづくり協議会設立準備会 代表 富永正樹 (Tel 090-3900-3923)
- 小城市役所 企画政策課 (Tel 0952-37-6115)

決定! いよいよ最終ステージへ。 第3回三里まちづくりワークショップ



みんなで作る三里まちづくり News-2



三里地区では、誰もが安心して住み続けられる地区を目指して、三里振興会を母体に各種団体の代表で構成する『三里まちづくり協議会設立準備会』を結成し、「地域のまちづくり事業」に取り組んでいます!!

「地域のまちづくり事業」とは…概ね小学校区単位を想定し、地域の魅力や課題を洗い出し、地域の目標・まちづくり計画をつくり、その目標を実現していくために自治会、消防団、PTA、老人クラブ等の地域で活動されている各種団体で構成する『まちづくり協議会(仮称)』を設立し、地域活性化に向けた“住民主体のまちづくり”を進めていくための事業です。

た。かす』(地域の人材)が柱となってくることも分かってきました。

他のテーマと一緒にできることを探していく過程で、『人を活かす』(地域の人材)が柱となってくることも分かってきました。

9/10

第2回

三里まちづくりワークショップ開催

人を活かす × 高齢者への対応 × 子育て応援
が一緒になると

三里支館や地区の公民館を徹底的に活用して

- ① 高齢者の所在確認
- ② 子どもの見守り
- ③ 交流会



人を活かす × 高齢者への対応が一緒になると

集まれる場所があるから出会う機会ができていく

- ① 趣味活動が広がる

人を活かす × 高齢者への対応が一緒になると

- ① 高齢者の手助け作業
- ② 介護施設等での働く場所と人材の確保ができる
- ③ 公民館の駐車場を使って軽トラ市を開催

人を活かす × 子育て応援が一緒になると

- ① 組織の見直しをする



人を活かす × 高齢者への対応 × 子育て応援 × 歴史と場所を活かす × 防災・安全安心が一緒になると

三里支館や地区の公民館を徹底的に活用して

- ① 歴史的な場所の言い伝えなどを教えてもらう
- ② 過去の災害の情報を得ることができる、経験を活かせる
- ③ 各集落の行事に参加して歴史とふれあう

共通課題も一緒にやると、一石二鳥になるかも！
中心になるのはやっぱり、地域の人材。

集まれる場所がある

出会う機会があったらいいな

働く場所がないね

地域の役が多い

情報が足りていない

● 人を活かす

目標

三里独自の人材を活かした人材バンクをつくる

- 埋もれている知恵を発掘する
- 人材の掘り起こしをしっかりとやる
- 人材バンクが生きる仕組みを考える

目標

みんなが楽しく交流する場をつくる
お金をかけずに交流する場をつくる

- 保育園や小学校との交流を増やす
- 三里支館をフル活用する

● 高齢者への対応

目標

今日行くところがある・今日用がある
毎日づくり

- 高齢者の寄りどころをつくる
- 地区内の顔合わせの回数を増やす
- 病院や買い物への移動手段をつくる

目標

非常時の対応・病気等への対応

- 認知症への地域対応を考えていく
- 病気など緊急時への対応方法をつくる
- 避難訓練を実施する

● 子育て応援

目標

子育てしやすいまちづくり

- 特色のある教育を実施(三里型)している三里にする
- 「三里っ子」を活用する
- 子どもが楽しく集まれる場所をつくる

目標

地域交流の活発化

- 各行事の共有化を進める
- 子どもが外に出たくなるような行事を考える

● 歴史・場所を活かす

目標

地域を学ぶ

- 三里の歴史と由来を学ぶ

目標

三里の風景を守る

- 農村風景を残す

目標

祭を盛りあげ、祭を創っていく



● 防災・安全安心

目標

自然災害を想定した準備をする

- 避難のためのルールづくり

目標

自然災害の危険情報の共有と更新を進める

- 災害情報の収集方法を周知する
- 新たに校区危険マップをつくる

目標

日頃の安全を見直す